

2022年5月18日

SUBARU BRZ(アイサイト装着車)とフォレスターが IIHS 安全性評価でトップセイフティピックプラスを獲得(米国仕様車が対象)

- SUBARU BRZ が初めて最高評価のトップセイフティピックプラス(TSP+)を獲得
- SUBARU BRZ(アイサイト装着車)とフォレスター共に全評価試験において最高評価を獲得
- SUBARU BRZ とフォレスター含め SUBARU の 8 車種が米国 IIHS による 2022 年安全性評価において賞を獲得



2022年モデル SUBARU BRZ(米国仕様車)



2022年モデル フォレスター(米国仕様車)

2022年モデルのSUBARU BRZ(アイサイト装着車)とフォレスター(共に米国仕様車)が、米国IIHS*1によって行われた2022年安全性評価において、最高評価となる「トップセイフティピックプラス(TSP+)」を獲得しました。

SUBARU BRZは、6AT搭載車に新たにアイサイトを標準装備したことが、初めての最高評価の獲得につながりました。またフォレスターは、全ての評価基準において最高評価を獲得しました。今回のSUBARU BRZとフォレスターの受賞により、IIHS 2022年安全性評価で賞を獲得したSUBARUの車種は以下の計8車種となります。

2022 トップセイフティピックプラス(TSP+)獲得車種(米国仕様車)

- ・SUBARU BRZ(アイサイト装着車):初のTSP+獲得
- ・フォレスター:16年連続のTSP以上獲得
- ・クロストレック*2 ハイブリッド:4年連続のTSP+獲得
- ・レガシィ:17年連続のTSP以上獲得
- ・アウトバック:14年連続のTSP以上獲得
- ・アセント:5年連続のTSP以上獲得

2022 トップセイフティピック(TSP)獲得車種(米国仕様車)

- ・インプレッサ(5ドア)(アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車):15年連続のTSP以上獲得
- ・クロストレック(アイサイトおよび特定のヘッドライト装着車):11年連続のTSP以上獲得

2022年安全性評価においてTSPもしくはTSP+を獲得するには、6種類ある耐衝撃性能試験のすべてにおいて「Good」、且つヘッドライト性能試験において「Good」もしくは「Acceptable」を獲得し、さらに対車両および対歩行者の両方で「Superior」もしくは「Advanced」の評価を獲得した前面衝突予防システムが選択可能であることが求められます。加えて、「Good」もしくは「Acceptable」評価を獲得したヘッドライトを標準装備したモデルには、最高評価であるTSP+が与えられます。

なお、TSPの要件を更に強化したTSP+が2013年に導入されて以降SUBARUが獲得したTSP+の累計は63となり、単一ブランドとして最多となります。*3*4

*1: Insurance Institute for Highway Safety (道路安全保険協会)

*2: 日本名 SUBARU XV

*3: 適用対象は米国仕様車のみ。Subaru of America と Subaru Canada の調査結果に基づく。

*4: 2022 年 5 月時点



2022 トップセイフティピックプラス ロゴ